

報道関係各位

岩手県立大学 研究・地域連携本部

**データで政策は変わるのか。
デジタル庁樫田光氏を迎え、EBPM の課題と可能性を議論
～自治体・研究者・行政実務者による EBPM カンファレンスを開催～**

岩手県立大学では、データに基づく政策立案（EBPM：Evidence-Based Policy Making）の理解促進と実践力向上を目的として、「EBPM カンファレンス」を開催します。

近年、行政分野においてデータ活用の重要性が高まる一方で、現場では「データはあるが政策に活かさない」「分析人材が不足している」「組織内で活用が広がらない」など、多くの課題が指摘されています。

本カンファレンスでは、デジタル庁 Chief Analytics Officer として政策データの可視化や EBPM 推進に携わる樫田光氏を講師に迎え、行政におけるデータ活用の最前線と今後目指すべき姿について講演いただきます。

また、岩手県及び奥州市で実際に政策立案や行政改革に携わる自治体職員、EBPM 研究に取り組む研究者が登壇し、「なぜ EBPM は現場で使われないのか」をテーマに、自治体現場が抱える課題や組織づくり、人材育成のあり方について議論します。

自治体職員だけでなく、行政、教育、企業、学生など、データ活用や政策形成に関心のある方であればどなたでも参加可能です。

地域社会の課題解決に向けたデータ活用の可能性を考える機会として、ぜひご取材くださいますようお願いいたします。

記

- ◆講座名 岩手県立大学 令和8年度データサイエンス・リカレント講座
EBPM カンファレンス「なぜ EBPM は現場で使われないのか」
- ◆日時 令和8年8月24日（月）13:30～16:30
- ◆会場 いわて県民情報交流センター（キオクシアアイーナ）会議室 803
- ◆主催 岩手県立大学／共催 岩手県／後援 岩手県市長会、岩手県町村会
- ◆対象 EBPM やデータ活用に関心のある方 ※自治体職員、一般の方も参加可能
- ◆内容 【第1部】基調講演「データに基づく政策立案の最前線と目指すべき姿」
講師 デジタル庁 Chief Analytics Officer 樫田 光 氏
【第2部】トークセッション
現場のリアルな課題と突破口～EBPM を『使える形』にする現場のヒント～
登壇者 樫田 光 氏
岩手県立大学総合政策学部 准教授 杉谷 和哉 氏（モデレーター）
岩手県立大学宮古短期大学部 准教授 和川 央 氏
岩手県総務部財政課 吉田 沙織 氏
奥州市総務部行革デジタル戦略課 藤澤 弘江 氏
※各講座詳細・申込方法は別紙チラシ・大学WEBページをご覧ください。

— EBPMを「使える形」にする現場のヒント —



なぜEBPMは 現場で使われないのか

データで政策は変わるのか。

研修で終わらせない。EBPMを“現場で回す”実践セミナー

2026.08.24 月 13:30 -16:30

デジタル庁で政策データの可視化とEBPM推進を担う榎田光氏が、データ活用の最前線から、行政の現場で直面する課題に鋭く切り込み、トークセッションでは、自治体職員と研究者の視点から、組織連携や人材育成、データ基盤などのリアルな課題と突破口を議論します。

EBPM：エビデンスに基づいて政策を考える取組

プログラム

【第1部】基調講演（45分）デジタル庁 榎田光氏
データに基づく政策立案の最前線と目指すべき姿

【第2部】トークセッション（60分）
現場のリアルな課題と突破口
登壇者：榎田／杉谷／和川／吉田／藤澤

【第3部】意見交換・質疑（40分）
～明日から使えるヒントを持ち帰る～

基調講演講師

榎田 光 氏

デジタル庁
Chief Analytics Officer



データ政策の中核人材、元メルカリ Head of Data Analytics（分析責任者）。民間からデジタル庁へ転身し、データを通じた行政の高度化に取り組む。デジタル庁では、政策データの可視化やEBPMの推進を担い、政策の質向上とデータ活用の浸透をリード。民間と行政双方の経験を活かし、実務に根ざしたデータ活用を提言している。

自治体パネリスト

吉田 沙織 氏 岩手県総務部財政課

藤澤 弘江 氏 奥州市総務部行革デジタル戦略課
課長補佐兼行政改革推進係長

会場 キオクシアアイーナ 会議室803
（いわて県民情報交流センター）

対象者 EBPMやデータ活用に関心のある方など誰でも
※自治体職員の方、一般の方のご参加も歓迎
※専門知識がなくてもご参加いただけます

定員 80名 参加無料／事前申込制

申込方法 右の二次元コードもしくは
下のWebフォームからお申し込みください。
<https://forms.gle/v1JgPdADMxy9srKP6>



モデレーター

公共政策学が専門。EBPMや政策評価の研究に従事。著書に『政策にエビデンスは必要なのか』などがあり、政策形成の理論と実践の両面から発信。

岩手県立大学 総合政策学部

准教授 杉谷 和哉



パネリスト

公共政策・社会学・Well-beingが専門。県政策分析アドバイザー等を歴任。元県職員。EBPMや政策分析・評価を理論と実務の両面から支援。

岩手県立大学 宮古短期大学部

准教授 和川 央

セミナーに関するお問合せ

主催



研究・地域連携室 TEL:019-694-3330
chiren@ml.iwate-pu.ac.jp 担当:長内

共催：岩手県
後援：岩手県市長会/岩手県町村会